



LEGENDARY

THE ART AND SOUL OF

DUNE

PART TWO

ドゥニ・ヴィルヌーヴの世界

アート・アンド・ソウル・オブ・ドゥーン 砂の惑星 PART 2

タニア・ラポイント

With

ステファニー・ブルース

by ドゥニ・ヴィルヌーヴ

Production: フライアン・ハーバート & ケヴィン・J・アンダーソン

翻訳: 阿部清美

DUNE PART ONE AND PART TWO ARE BASED ON THE NOVEL BY FRANK HERBERT

右: (左から) ヨルダンのセットで撮影するレベッカ・ファーガソン、撮影監督のグレイグ・フレイザー、ゼンダイヤ、ティモシー・シャルメ、ハビエル・バルデム、ジョシュ・ブローリン

右下: 写真家のチアベラ・ジェームズが撮影した「PART1」のティウの会場のハビエル・バルデムとレベッカ・ファーガソン

カウントダウンが始まる

「PART1」の全米公開日(2021年10月22日)からわずか4日後、レジェンダリー・エンターテインメントは正式に「PART2」のゴーサインが出たことを発表。それから1ヶ月も経たない2021年11月、レジェンダリーのプロデューサーで、国際プロダクション部門の部長であるメアリー・ペアレントは、2作目の主要撮影を2022年7月18日に開始すると公表した。つまりそれは、撮影開始までの8ヶ月以内に、脚本、デザインを完成させ、キャストイングを済ませ、大規模なセットがロケ地や撮影所のサウンドステージに建てられていないといけないことを意味していた。

2022年初め、1作目が著名な映画賞の有力候補のひとつとして挙げられている事情もあって、ドゥニは「PART1」のプロモーションを精力的にこなしており、続く3ヶ月の大半年も、そうした仕事に占める予定になっていた。賞の受賞候補という状況下で続編の準備をこなすのは、特に監督であるドゥニ・ヴィルヌーヴにとっては、エキサイティングであると同時に過酷なことでもあった。インタビューや映画賞関連の活動の合間に、彼はまだ誰にも明かしていない脚本に取り組み続ける。私たちが知っているのは、フランク・ハーバートの原作にも登場するキャラクター3人——パーディシャー皇帝(宇宙帝国の皇帝)、ベネ・ゲセリットのメンバーのレディ・マーゴット・フェンリング(皇帝と親しいフェンリング伯爵の妻)、フェイドラウサ・ハルコンネン(ハルコンネン男爵の妻)——を彼がキャストイングしたいと考えているということだけだった。

ドゥニとプロダクションデザイナーのバトリス・ヴァーメットは、その頃から予想的なデザインについて話し合いを持ち、「PART2」の視覚的特徴を定義していく。フレメンが住む砂の惑星アラキスに落ちる旅はこうして始まり、続編の撮影が決定してからオールラッシュ(両作の最終段階)まで、約2年のプロセスとをた。

私の希望は、本書を読み、オリジナルのコンセプトアートを見た読者の皆さんが、大いにインスピレーションを受け、もう一度映画を観てみたいと思うようになることだ。そして、フランク・ハーバートの世界、監督ドゥニ・ヴィルヌーヴのビジョン、深い没入感を伴う新たな映像体験として原作小説を映画化するのに再び挑戦したスタッフの献身を、もっと深く味わってほしいと願ってやまない。



(1作目の撮影に挑んだ際)

“レベッカ・ファーガソンとハビエル・バルデムはこの物語のさらなる冒険に再び参加したいという大胆な願いを、ことあるごとにドゥニにアピールしていた——”





VILLAIN TERRITORY

悪者たちの領域

下: ヨルダンでロケ地に設けられたフレメンのシェルターにいるガーニー・ハレック (ジョシュ・ブローリン) とゴール (ティモシー・シャラム)

右: ガーニーの密輸業者のスペーススーツのコンセプトアート

P145: 帆を使って密輸業者の採取機を移送する運搬機のプロトタイプ

死からの生還

「DUNE」で描かれるハルコンネン家は、アラキスのスパイス採取可能エリアを攻撃的なまでに握り返すことで知られているが、彼らだけがそうなのではない。社会の片隅で生きるスパイス密輸業者たちもまた、この戦利品の分け前に預かろうとしている。密輸業者たちのシーンでは、運搬機が、燃料節約のために大きな帆を用いながら、使い古されたおんぼろ採取機を移送させていく。そこで観客は、誰かの歌声を耳にする。それは、ガーニー・ハレックだ。かつてアトレイデス家の武術指導者役だった彼は、密輸業者に転身し、砂漠を生き抜くために利用できる物をかき集めて作られた宇宙服を身に纏っている。

